

# -タリークラブ 第66回例会 『あたご自然体験プロジェクト』

開催日時:2025年10月25日(土)正午 12:30 ~ 16:00 開催場所: 阿多古フィールズ(天竜区上野948・旧下阿多古中学校)

浜松市の児童養護施設や阿多古地域の子ども達に、阿多古の自然と親しむ体験プログラムを提供しました。

#### ■ 会長挨拶 衞藤会長

みなさんこんにちは、ロータリアンのみなさん、こんにちは。 本日は、この場所あたごフィールズに、大勢お集まりいただきありがとうございます。ご尽力いただき ました皆様に心より感謝申し上げます。

まず自己紹介もかねて、わたしたちロータリーの簡単なご紹介をします。ロータリーって聞いたことあ る人いますか? ロータリーは1905年(今から100年以上前)アメリカ合衆国シカゴ発祥の職業奉仕 団体です。全世界に120万人以上のメンバーがいます。主に国際理解、親善、平和を推進することを 目的に活動しています(ちょっと難しいですよね:社会に出たら仕事をしてお金をもらうようになります が、ただ稼げばよい、自分だけ儲かればよいという考え方ではなく、自分の仕事がちゃんと社会のなか で役に立っているのか、みんなにとって意味のある公正なものか、と問いながら、より積極的に、世界を よりよくするために行動している人たちの集まりです。例えば、世界の貧しい国々では衛生環境が悪く、 小児麻痺(ポリオ)という病気でたくさん子供が亡くなったりしていますが、それを予防するワクチンを世 界のロータリーメンバーが寄付等を通じて提供したりしています。)そして私たちのクラブは発足3年目



の若いクラブですが、国際ロータリーの方針と伝統のもと、街頭募金活動や児童養護施設との継続的な関わり等を通じて、職業倫 理の向上そして地域への奉仕を日々実践させていただいております。

そして本日のテーマは、「交流」です。みなさんは様々な人と交流することが好きですか?私は、大好きですww。「交流」というと堅 苦しく聞こえたりしますが、簡単に言うと、いろんな人とじかに直接会って話をすることで、自分の知らない世界を知る、ことじゃない かなと思います。はじめての人と会うとき**「どきどき」**緊張もしますが、**「にこっ」**とまず挨拶を自分からして(チャンスがあれば握手もし て)、「**わいわい」**お話をしてみて、相手がどんな人なのかを知る、そういうなかで、自分が今まで知らなかった考え方や、見方、その 分野の詳しい知識や知恵みたいなものを感じ取ったとき、自分の世界が広がるように思いませんか。自分の世界が広がると、アンテ ナが立つといいますか、それまで気にも留めなかったことにも、新しい意味を感じるようになったり、発見があったり、**「もくもく」**好奇心 が高まったりして、毎日が「わくわく」楽しくなるように思います。

今日もそうです。わたしたちは、今日出会いました。また、今から出会う竹職人、木こり、生物・昆虫の先生からも、じかに会って、 話をして、体験することで、自分のなかに今までなかった世界が広がってくると思います。

ちなみに、ロータリーメンバーにも、世界の旅行に詳しい田中さ ん、電気工事に詳しい小澤さん、村田さん、チャック袋のことなら中 道さん、高級な家を建てるなら松井さん、柳生さん、インターネット・ ウェブなら平野さんがいます(いつでも頼りにしてくださいね) 昨今は、ネットの普及により、その場にいながら瞬く間に世界を映 像だけで旅することができますが、それは、本当の「交流」でも「体 験」でもありません。

わたしたちは、今日、この場所に来ました。「さらさら」と阿多古川 が流れています。「ざわざわ」と木立がささやいています。「ごろご **ろ」**と寝転がってみたいですね。(\*「太字」はあたごフィールズの宿 泊部屋の名前です)

今日が、わたしたちにとって、素晴らしい「交流」と「体験」の日に なるといいですね!本日もよろしくお願いいたします。



### ■ 挨拶 社会福祉法人葵会 野中施設長 素晴らしい企画をしていただき感謝します。

今日の自然体験、皆で楽しみましょう。



# ■事前説明・講師紹介 あたごフィールズ代表 河野財団委員長 今日は、阿多古で、竹細工、木こり、昆虫生物を体験しましょう

講師の先生です。竹細工は梅林さん、昆虫生物は野沢さん、木こり は鈴木さんです。



### ■ 竹細工体験









### ■ 木こり体験













## ■ 昆虫体験







※出席率:45.2 % (会場 14名/31名)

